

こまき市民討議会 まちづくりミーティング 2020

- 実施報告書 -

令和2年12月

(主催)

一般社団法人小牧青年会議所
小 牧 市

(協力)

こまき市民討議会実行委員会
ファシリテーターの会

目次

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 1 はじめに | 1 |
| 2 事業概要 | 2 |
| (1)報告書 | |
| (2)市民討議会とは | |
| (3)こまき市民討議会の開催経緯 | |
| (4)開催までの流れ | |
| (5)開催の概要 | |
| 3 話し合いの進め方 | 5 |
| (1)前回からの主な変更点 | |
| (2)具体的な進め方 | |
| (3)情報提供 | |
| 4 話し合いの結果(討議内容 1) | 8 |
| (1)概要 | |
| 5 話し合いの結果(討議内容 2) | 14 |
| (1)概要 | |
| 6 意見のまとめ・取扱いについて | 20 |
| 7 今回の反省と今後への課題 | 21 |
| (1)無作為抽出による参加者募集について | |
| (2)「楽しい市民討議会」について | |
| (3)謝礼について | |
| (4)運営体制について | |
| (5)今後の市民討議会のあり方について | |
| 8 こまき市民討議会を終えて | 26 |
| 9 会場の様子 | 28 |
| | |
| > アンケート集計結果 | 31 |
| | |
| > 資料編 | 46 |

1 はじめに

2012年から開催されている「こまき市民討議会 まちづくりミーティング」も今回で9回目を迎えることが出来ました。これも2012年から今までこの市民討議会に共催していただいております小牧市支え合い協働推進課並びにご協力いただきましたファシリテーターの会、実行委員の皆様のご理解とご協力のおかげで開催できたと感じております。

こまき市民討議会まちづくりミーティングは、まちづくりへの市民参画の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の醸成を図ることで、普段はまちづくりや市政に対して声を上げる機会の少ない皆様にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけとなっていると感じております。

本年度はSDGsを推奨する団体でもあります小牧青年会議所といたしまして、SDGsにあります17の目標から「11 住み続けられるまちづくりを」にポイントを置きSDGsとはどのような取り組みなのか、そして自分自身が住み暮らすまちに対して何が出来るのか、一人ひとりが出来る事を話し合っていました。多くの方々に御参加いただき、幅広い世代の方々に気軽に楽しく中身濃く討議いただく事が出来ました。

また今年は市民討議会実行委員から立ち上げられたファシリテーターの会そして市民討議会に参加していただいた事の方々に実行委員会を立ち上げ、準備から企画、当日の運営までご協力いただきました。ぜひ今後も市民討議会の自立した運営に携わっていただけたらと思います。

今回、こまき市民討議会まちづくりミーティング2020が無事に開催できたのは多くの市民討議会実行委員の皆様、一緒に会の成功を願ってご協力いただきました小牧市支え合い協働推進課の皆様のおかげであります。そして、何よりこの市民討議会にご参加いただきました市民の皆様に厚く感謝申し上げます。

一般社団法人小牧青年会議所
副理事長兼室長 吉戸 淳

2 事業概要

(1)報告書

本報告書は、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市が締結した「こまき市民討議会まちづくりミーティング2020の実施に関する協定書」に基づき、こまき市民討議会の内容及びその手法について、一般社団法人小牧青年会議所がまとめたものです。

(2)市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている市民参加の手法「プラーヌクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ生かす新しい市民参加の手法です。

これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、その「声なき声」をまちづくりに反映させる手法として活用されています。

こまき市民討議会ではこの手法をもとに、無作為抽出で選ばれた市民が、地域の課題・解決策について話し合ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなることを目的としています。

今回の市民討議会の特徴

- ・参加者は無作為抽出した18歳以上の小牧市在住者。
- ・参加者には謝礼を支払います。（クオカードによる支払い）
⇒普段まちづくりに関心のない市民の参加を促します。
- ・SDGsとはどのような取り組みなのか、企業や小牧市が取り組んでいるSDGsについて一般社団法人小牧青年会議所より討議前に情報提供をします。
⇒課題に対する個々の知識の差を補完し、話し合いを円滑にします。
- ・グループで討議したまとめに対し、グループごとで発表をします。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策を実施
(ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用、フェイスシールドの活用、検温、手指消毒の実施等)

(3)こまき市民討議会の開催経緯

こまき市民討議会は、市民がまちづくりに参加する新しい試みとして一般社団法人小牧青年会議所が市へ企画提案したもので、市民がまちづくりについてお互いに課題を共有し、自分たちに何ができるかを話し合うことでまちづくりに関心を持っていただくことを目的とし、平成24年度に市との協働によって第1回が開催されました。

(4)開催までの流れ

◆令和2年4月13日 協定締結

開催に向け、小牧青年会議所と小牧市において「こまき市民討議会まちづくりミーティング2020の実施に関する協定」を締結しました。

この協定は、市民討議会の実施について両者の関係や役割分担、相互協力の内容を定めたものです。

◆令和2年8月14日 参加案内発送

小牧市において無作為に抽出した18歳以上の市内在住者1,500人に参加案内を発送し、参加いただくよう呼びかけました。

その結果、定員約20人に対し38人の方から参加承諾をいただくことができました。

◆令和2年9月18日 参加決定通知書発送

抽選によって参加者28人を決定し、「参加決定通知書」を発送しました。

その後の辞退者もあり、当日は22人の参加となりました。

(5)開催の概要

ア 日時

令和2年10月10日(土) 9:30～12:30

イ 会場

小牧勤労センター 多目的ホール（小牧市上末2233-2）

ウ タイムスケジュール

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 9:00～9:30 | 受付 |
| 9:30～9:40 | 理事長挨拶・市長挨拶・実行委員長挨拶 |
| 9:40～10:19 | 市民討議会の説明・自己紹介・アイスブレイク・テーマ情報提供 |
| 10:19～12:20 | 討議・発表 |
| 12:20～12:25 | メインファシリテーター総評 |
| 12:25～12:26 | お礼の言葉 |
| 12:26～12:30 | アンケート記入 退室 |

エ 討議テーマ

【大テーマ】「住み続けられる小牧を」～私たちから変えられるまちづくり～

(小テーマ)「小牧の自慢ってなんだろう？」

討議内容1「小牧の自慢について」

それぞれが思う小牧の良いところ、自慢を上げていただきました

討議内容2「自分たちで何ができるか」

討議内容1 で出した小牧の自慢の中から自分たちでは何ができるのかを、討議していただきました

オ 謝礼

1,500円(クオカード)

カ 運営体制

主催 一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

協力 ファシリテーターの会・こまき市民討議会実行委員会

本年度も「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、昨年度の市民討議会の参加者とファシリテーターの会から募集を行い、10人の方に承諾をいただきました。4回の実行委員会に加え、実行委員会役員、青年会議所、小牧市支え合い協働推進課との三者会を6回開催し、討議テーマの選定、アイスブレイク、進行方法等を決定しました。

また、討議会当日の受付からメインファシリテーター、司会、テーブルファシリテーターまで全てにおいて実行委員に運営していただき、企画から当日まで自主性を持ってご協力いただきました。

メインファシリテーター 立川 雅弥さん(ファシリテーターの会)

総合司会 脇田 英臣さん(ファシリテーターの会)

テーブルファシリテーター(ファシリテーターの会・実行委員)

3 話し合いの進め方

(1) 前回からの主な変更点

本年度はSDGs 17の目標のうち11「住み続けられるまちづくりを」にポイントを置き小牧の自慢を掘り出しそれについて自分たちで出来ることを考えていただきました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、午前からの開催としグループ間及び討議者間の距離をとり、ホワイトボードに設置した模造紙にふせんの貼り出しを行い、スクリーンに各グループの検討結果をまとめた模造紙をビデオカメラでスクリーンに投影しました。

ファシリテーターの会と実行委員の方々に「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、準備から当日の運営に至るまで行っていただき、当日は非常に良い雰囲気で行えたと感じております。



◆新型コロナウイルス感染症対策

今年はソーシャルディスタンスの確保、手指消毒、検温を徹底し、入退出の一方通行そしてマスク着用、場合に応じてフェイスシールドの着用、ふせんの張り出しは決められた人だけ（青年会議所メンバー）、常時扉を開放し換気を行いました。



新型コロナウイルス感染症対策として前年度とは違った形とはなりましたが通年どおり変わらず討議が出来たのではないかと思います。

◆スタッフの配置

会場全体の進行役として司会者を1名、討議会参加者の意見を引き出す支援者としてメインファシリテーター1名、また、テーブルファシリテーターを各グループに1名ずつ配置し、和やかな雰囲気です話し合いができるよう工夫し、実行委員の方々に担当していただきました。



◆アイスブレイク

討議前に会場の雰囲気づくり、ファシリテーターの話しに注目してもらうため、アイスブレイクを行いました。

内容は手足を使った「後だしじゃんけん」を行い最後まで残った方にお菓子の詰め合わせをプレゼントさせていただきました。

(2)具体的な進め方

ア グループのメンバー

一般参加者約5名とテーブルファシリテーター1名（実行委員）とホワイトボードに設置した模造紙にふせんを貼る係2名（青年会議所）を1つのグループとし、合計6テーブルでテーマについて討議していただきました。

イ 話し合いの進め方

テーマに沿って、自分の意見をできるだけ多くふせんに書き出し、それをホワイトボードに設置した模造紙に貼っていきました。（ふせん貼り出しは青年会議所メンバーが対応）

書き出された意見をもとに、話し合いを通して意見をグルーピングしていき、合意形成を図りました。

ウ 発表

グループの話し合いの結果を、決められた時間で発表していただきました。

（正面のスクリーンに映像を映し近づかなくても参加者が見られるようにした）

(3)情報提供

SDGs 17の目標から「11住み続けられるまちづくりを」にポイントをおき、SDGsがどのような取り組みなのか、小牧市が取り組んでいるSDGsについて説明をした。

情報提供者：一般社団法人小牧青年会議所 長谷川 陽一君

4 話し合いの結果（討議内容 1）

討議内容 1：小牧の自慢

討議内容 1 では、それぞれが思う小牧の良いところ、自慢を上げていただきました。

(1) 概要

| | |
|-----------------|---|
| パークアリーナ グループ | 目時さん、地原さん、大野さん、犬走さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none">■グルメ<ul style="list-style-type: none">・スタバが2軒できる・たこ焼きほていや・名古屋コーチン■交通<ul style="list-style-type: none">・小牧ジャンクションがある■施設<ul style="list-style-type: none">・市民プール・新しく出来る図書館・図書館の本の多さ・パークアリーナ・空港がある・四季の森■ブランド<ul style="list-style-type: none">・オーケストラがある・吹奏楽団・エコロジーに力を入れている・世界的有名企業がある・パークアリーナでプロバレーの試合をやる・ブルーインパルスが見られる■行政<ul style="list-style-type: none">・産後ケアがしっかりしている・児童福祉が充実・お金がある■人・歴史<ul style="list-style-type: none">・歴史のあるまち・スピードワゴン井戸田・A K-69・外国の方が沢山住んでいる■自然<ul style="list-style-type: none">・小牧山城・自然が豊か・公園が広い |

| | |
|----------------|--|
| 市民四季の森 グループ | 安川さん、新田さん、渡辺さん、内山さん、松浦さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none"> ■ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・果物桃・名古屋コーチン ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍・小牧山・自然災害が少ない・静かに暮らせる・公園がきれい ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・工場が多い・病院がきれい・市民プール・スポーツできる場所がある ・スーパーが多く買い物しやすい ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路 I C が 3 つある・道路が整備されている・電車がある・高速道路が 東西南北に通っている ■娯楽 <ul style="list-style-type: none"> ・ワイナリーがある ■人・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長・小牧山城・田縣神社 ■グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・ラーメン店が多い・飲食店が多い ■こども <ul style="list-style-type: none"> ・中学 3 年生まで医療費無料 ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が多い・良好な市の財政・気候が安定している・コロナ支援が充実 ・住民同志のトラブルが少ない |

| | |
|-------------|---|
| 小牧山 グループ | 平手さん、舟橋さん、宮下さん、塚本さん、国井さん、河村さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none"> ■グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・ラーメン激戦区・小牧ワイナリー・名古屋コーチン・世界で唯一の粉末酒 ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が便利・名鉄小牧線・車のアクセスが良い・道路が整備されている ■人・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・小牧城・小牧長久手の戦い秀吉と家康が戦った・織田信長 ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・メナード美術館・パークアリーナ・小牧市民病院・図書館 ■防災 <ul style="list-style-type: none"> ・災害の被害が少なく住みやすい・災害リスクが低い ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券がうれしい・老人に手厚い・給付金がはやかった・学校がたくさんある・学校の設備がしっかりしている・ペイペイ 10%還元 ■娯楽・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが活発・公園が沢山ある・小牧の水はおいしい・気候が良い・小牧山・四季の森・田縣神社・小牧駅前のイルミネーションがきれい |

| | |
|-----------------|--|
| 名古屋コーチン グループ | 松本さん、和田さん、吉本さん、深山さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none"> ■ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誉高校甲子園・小さくてギュっとした規模 ■ グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・ おいしい飲食店が多い・コーチン・しるこサンド ■ 人・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国の方が多い・ユニークな市長・田縣神社天下の奇祭 ■ 交通 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本のほぼ真ん中・流通が良い・トラックターミナル・小牧空港・高速 ■ 自然 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧山・小牧山の緑・公園がたくさんある ■ ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・ 名産品が多い・名古屋コーチン ■ 施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校がきれい・パークアリーナ・ごみ処理活用温水プール・こども未来館 ・ 市民ネットワークの活動・新図書館・体育館の充実 ■ 行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情勢の公開・子育て支援の充実・大学との連携 |

| | |
|----------------|---|
| しのおかの桃 グループ | 倉澤さん、児玉さん、吉田さん、宮本さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none"> ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援・育児環境・児童館が多い・児童手当・コロナの対応が早い ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・パークアリーナ小牧・新図書館・喫茶店が多い ■歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・小牧山・歴史にゆかりがある・史跡が2つある・田縣神社 ■ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・しのおかの桃・名古屋コーチンの卵・えび芋・名古屋コーチン・ゆるキャラ ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・四季の森、自然が多い・田園と都市のバランスがとれている ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・物流の拠点になっている・メーカーが多い・技術が集積している・大企業の工場が多い・三菱重工・生活の利便性が良い・高速がある・I Cがあり便利・空港がある・巡回バスがある・高速バスがある |

| | |
|--------------|---|
| 田縣神社 グループ | 舟橋さん、市川さん、後藤さん、丹羽さん、吉田さん |
| 小牧の自慢 | <ul style="list-style-type: none"> ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・四季の森・飲食店が多い・小牧山・パークアリーナ・図書館・絵本図書館 ・こまきコロナ ■イベント <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りが多い・豊年祭・蛍祭り・小牧山の桜 ■お金 <ul style="list-style-type: none"> ・三世代住居助成金・こどもに対する助成金・非常時の対応が良かった ■食べ物 <ul style="list-style-type: none"> ・コモパン・本間パン・桃・名古屋コーチン ■住みやすい環境 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが住みやすい・こども発達支援の施設が増えてきている・保育園が増えている・アルコアプリ・老人施設が増えている・児童センターが多い ・高速道路が使いやすい・国道41号がある・車で移動しやすい・交通が便利 ・まちがきれい・小牧市の中で生活が完結できる・高速ICがあり流通が盛ん ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・都会すぎず田舎すぎず・災害が少ない・自然に恵まれている ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が新しくなる・ごみの分別が細かい・行政と市民の協働・補修したいところを市に伝えられる仕組みがある・広報が見易い |

5 話し合いの結果（討議内容2）

討議内容2：自分たちで何ができるか

討議内容2では、討議内容1で出した小牧の自慢の中から自分たちでは何が出来るのかを、討議していただきました。

(1) 概要

| | |
|-----------------|---|
| パークアリーナ グループ | 目時さん、地原さん、大野さん、犬走さん |
| 自分たちで何が出来るか | <ul style="list-style-type: none"> ■グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋コーチンを食べる ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを守る・巡回バスを利用する・SNSで小牧山などの写真を上げる ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・友達を連れその場所に行く・沢山利用して知らない人にも知ってもらう・地元の店で買い物をする・店にアイデアを出し取り入れてもらう ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館で友達を作る・こども未来館下見 ■人・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・あまり日本語を話せない外国の方でも話しやすい環境を作る ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを持ち帰る・その場のルールを守る・小牧山の掃除 ・宗教の授業を増やす ・誰もが集える施設を設ける。 ・外国人向けの情報発信アプリ |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・地元の施設やお店を利用して友達やSNSで発信する ・外国の方に挨拶をしてコミュニケーションを広げる ・交通ルールなど「ルールを守る」 ・インフルエンサーになる |

| | |
|----------------|---|
| 市民四季の森 グループ | 安川さん、新田さん、渡辺さん、内山さん、松浦さん |
| 自分たちで何が出るか | <ul style="list-style-type: none"> ■ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・信長モデルのキャラクターを作る・名物もも、コーチンン×信長コラボ ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・自然を利用したキャンプイベントを提案・ゴミを捨てない ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・施設をきれいに使う・市民プールを利用する・工場企業のイベントで 住みやすさをアピール ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を活用した名所スマホスタンプラリー ■娯楽 <ul style="list-style-type: none"> ・小牧山全体を使ったスポーツイベントでアピール (逃走中・迷路・歴史サバイバル) ■歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の勉強・小牧山に登る ■グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・地元の食べ物屋を利用 ■こども <ul style="list-style-type: none"> ・大人がこどもの環境を良くする・こども同士で母国語の教えあい ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・隣人との繋がりを持ち協力し合える関係を築く・選挙に参加する ・市からくるアンケートに協力する・市民討議会など意見を出せる場 に参加する・地域での小さな運動に参加し輪を広げる |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・市の施設を利用してSNSで発信 ・自分から積極的に参加～地域のゴミ拾い～ |

| | |
|-------------|--|
| 小牧山グループ | 平手さん、舟橋さん、宮下さん、塚本さん、国井さん、河村さん |
| 自分たちで何が出来るか | <ul style="list-style-type: none"> ■ グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧山を名物にした食べ物を作る（小牧巻き）・小牧市内で食事買い物・小牧の桃をアピール・おいしいお店の紹介・小牧のラーメン食べ歩き・小牧の名産品を贈り物にする・小牧のおいしかったものをSNSで拡散・名産品を市外にアピール ■ 歴史・人物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧城までの山道掃除・小牧と言ったら歴史と文化のまちと言われるよう学生も市民展に参加出来るよう働きかけ文化度を上げる ・ 小牧城を木造で復元するよう市民運動をする ■ 施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧の施設を利用する・施設を利用した時にイルミネーションなどをSNSで発信・孫などを連れ積極的に施設を利用する ■ 防災 <ul style="list-style-type: none"> ・ ご近所との挨拶・消防団に入る・近所を巻き込み防犯運動 ■ 行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ プレミアム商品券を使う・ふるさと納税・小牧の各所をランニング ・ 桃花台ニュータウンを市民活動で活性化させ春日井市との連携をはかる・小牧巡回バスの利用・地域の行事参加・小牧市ホームページを見る・食べ歩きスタンプラリー ■ 自然・娯楽 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧でできた楽しかった事をSNS拡散・市民パトロール・川に異変があれば報告・ゴミ拾い・小牧の施設でスポーツ・公園にいったらゴミ拾い・近所の清掃・ゴミだしルールを守る |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧の魅力情報を発信する ・ 小牧の店や施設を積極的に利用する |

| | |
|-----------------|---|
| 名古屋コーチン グループ | 松本さん、和田さん、吉本さん、深山さん |
| 自分たちで何が出来るか | <ul style="list-style-type: none"> ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミは持ち帰る・ポイ捨てしないよう看板を増やす ■グルメ <ul style="list-style-type: none"> ・お店を利用してSNSでアップする・おいしい食べ物をSNSでアピールする ■歴史・人物 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を伝える・観光大使の活用歴史ある小牧をPR・歴史探検隊 ・まち案内ガイドとして定期的に活動 ■イベント <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋空港でイベント・カフェやショップで街中活性化 ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・川の掃除・ゴミ拾い ■ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・名産品をSNSでアピール・空港のPRキャラバン隊で全国巡る ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館に自習室を作る・もっと大きな施設を作る・市内施設を回りスタンプラリー・多くのこどもを連れ施設を利用・空き家を集合住宅にして学生たちに貸し出し若者を集める・スポーツ企画を行う ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・市民でメンテナンス課を、街中を探索し劣化場所を報告修繕 ・優良企業の更なる誘致 |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・こども未来間、新図書館の宣伝その中で体験メッセージ作成しそれを使いオブジェを作る ・こども未来間、新図書館が出来た由来を自分で調べ来場者に伝える |

| | |
|----------------|---|
| しのおかの桃 グループ | 倉澤さん、児玉さん、吉田さん、宮本さん |
| 自分たちで何が出来るか | <ul style="list-style-type: none"> ■行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆるキャラグランプリに投票・魅力あるイベント企画・ゴミだしルールを守る・小牧のふるさと納税に協力宣伝・コロナ応援商品券に参加する ■施設 <ul style="list-style-type: none"> ・施設や図書館の本などを大切に扱う・施設で英語学習 ■歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に興味を持つ・小牧の歴史を学ぶ・神社めぐりで御朱印集め ■ブランド <ul style="list-style-type: none"> ・農園をデザイン化して魅力あるまちにする・食べて紹介SNSにアップ・特産品を使った商品開発・地元で買い物・小牧の良いところ県外にアピール・小牧発ブランド野菜の開発・えびいもを使ったメニューを考案・友人に小牧をアピール ■自然 <ul style="list-style-type: none"> ・個人で自覚を持ち環境整備・ゴミを出さない持ち帰る ■交通 <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転交通ルール厳守・F D Aを利用する・空港を利用する ・自国のお祭りを催す ・公民館で一緒に勉強をする ・案内の各国版 ・学校の先生たちと一緒に案内版をつくる ・日本の文化を分かりやすく学ぶ ・大人が外国語の勉強をする ・学校で一緒に勉強をする |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・関心を持つ キーワードえび芋 ・特産品を知り一人ひとりが発信する |

| | |
|-----------|--|
| 田縣神社グループ | 舟橋さん、市川さん、後藤さん、丹羽さん、吉田さん |
| 自分たちで出来る事 | <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント・コミュニティ・SNS・助け合い ・ 挨拶・自分が行った店のPR・市民活動団体に参加・地域のコミュニティに参加・小牧山ゴミ拾いイベントなどを開き参加・祭りやお花見に行く・ライブラをシェア・図書コーナーを見に行く・イベントなどで出たゴミを持ち帰る・SNSの活用・地域のこどもたちに自分が教えられる事は教える・危険だと思ふ場所の報告・こどもたちに住み続けたいと思えるような小牧の良いところ伝える・健康を保つ・声を上げられる機会の活用・イベントの参加・イベントに出店・友達を誘いイベントに行く・近所の人と積極的に会話する・市内の経済活動に積極的に参加する・特産品をSNSで発信する ■ 地産池消 ・ 地元のお店にお金を落とす・使えるものは使う・地元の企業のものを使う・小牧の食べ物屋さんを利用する・小牧のものを使った新しい料理 ・ 誰もが分かる回覧板 ■ マナー・モラル ・ ママ、プレママに優しくする・自然保護ゴミを減らす・自分のゴミは持ち帰る・ゴミの分別しっかりと・高速、一般道でも制限速度を守る ・ ゴミ拾いクリーンアップに参加・交通ルールを守る |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンなまちづくりとしてゴミの分別をしっかりとする ・ 小牧の地域振興券の活用でまちの活性化につなげる ・ 私たちが住み続けられる ・ 周りの高齢者に情報提供をしていく |

6 意見のまとめ・取扱い等について

今回の市民討議会では参加していただいた市民の皆様にSDGsへの関心を高めていただくと共に、住み続けられる小牧のために一人ひとり何ができるかを主体的に考え意見交換し合う中で、自分達ができることを導き出し、小牧を想う気持ちを高めていただきました。大テーマ「住み続けられる小牧を」～私たちから変えられるまちづくり～とし、1の討議内容「小牧の自慢」2の討議内容「自分たちで出来る事」について、それぞれ討議を行っていただきました。

1の討議内容の「小牧の自慢」では「小牧山、小牧城」「小牧の特産品」「交通の利便性」などグループごとに多くの小牧の自慢が出てきました。

2の討議内容ではSDGsの「11 住み続けられる街づくりを」に繋がる市民一人ひとりの目線で見た小牧の自慢から掘り下げた「自分たちで出来る事」を考えていただきました。SNSによる小牧特産品のアピールから、小牧のお店や料理をSNSで拡散、自然保護のためのクリーンアップ、地元でお金を使い地元の企業の物を使う、地域や隣人とのコミュニケーションなどといった意見が多く出されました。

今回出た意見は、これから広がっていくであろうSDGsの動きと共に市民目線でのSDGsへの関わり方の1つの参考として実施報告書として市に報告させていただきます。

7 今回の反省と今後への課題

討議会終了後に反省会を一般社団法人小牧青年会議所、小牧市支え合い協働推進課、ファシリテーターの会、実行委員会で行い、その結果下記のような意見が実行委員から出ました。

反省会 令和2年11月5日(木)

◎良かった点

- ・テーブルの参加者は3人でしたが、年代や性別に偏りがなく、それぞれの立場や目線で意見が出てきたことが良かったと思います。
- ・コロナ感染対策の配慮が十分できた。
- ・まとめ作業の時間を延長した(臨機応変に対応できた)
- ・模造紙に枠線が引いてあり、見易かった。
- ・ふせんを青年会議所さんが模造紙に分類して貼り付けてもらえたことで、個人の意見発表に集中できた。
- ・まとめ作業で経過状況の確認にメインファシリがテーブルを回って5分延長してもらえたのはよかった。
- ・準備期間が短かった割には最後まで上手く進行できていたと思う。
- ・一般市民参加者に実行委員に興味がある方がいて良かった。
- ・取りまとめた模造紙の内容を、正面に映し、皆が見れるようにしたこと。
- ・テーブルの人数が少なく、ゆっくり話し合いができたこと。
- ・今回 SDG s というテーマでしたが、コロナ禍で準備時間も少なく、また当日台風の心配もあった中、無事開催できたこと、やりきれたことがよかった。
- ・メインファシの立川くんの総評がよかった。
- ・午前中だけの開催の方が、コンパクトで気軽という点では参加しやすいと思う。
- ・準備期間が短く本番がどうなるか不安でしたが、当日はスムーズに進行できた。
- ・発表時に模造紙をカメラでスクリーンに大きく映してもらえたので、座席が遠くても内容がよく見えた。
- ・今回の討議会はコロナ禍ということで、制約が多くグループ討議としては難しかったと思います。また、テーマでの範囲が広いので最後のまとめはどこのグループも苦労したのではないのでしょうか？半日だったのは参加者にとっては良かったようです。
- ・無事に開催できたことが良かった。
- ・コロナ対策もしっかり行えていて良かった。
- ・事前に討議の内容の項目がわかったので、振り分けがしやすかった。
- ・今回、半日の開催だったが、参加者にとってはハードルが下がって参加しやすかったのではないかな。
- ・一般参加者の方から実行委員に興味ありと実行委員が声をかけられ、ファシリテーターの会に入ってもらえた。
- ・はじめての実行委員だったが、ファシリテーターとしてちゃんとできるか不安だったが、テーブルメンバーが良かったのか無言になるなどもなく、テーブルの雰囲気としてはとてもよく、うま

くいったと感じた。

- ・去年は多文化共生、今年はSDGsと壮大で難しいテーマとなるが、興味関心をひきだせたという部分ではよかった。
- ・コロナであり、中止でもいいかなと思ったが、やはりやった価値はあったと思う。
- ・中身濃く、という点では一日のほうだと思うが、主婦で子どもがいるなどの多様な立場を考えると、半日というのも気軽に参加できると思った。午前、午後の入れ替え制などでも可能かとも感じた。
- ・会場装飾なかったが、第一印象として派手さはなかったが、拍手をするなど相手を思いやる気持ちなど中身の部分でフォローできれば問題ないとは感じた。
- ・次年度やる際も発表の際にカメラで写すことをしてほしい。内容が目で見ながら聴けると理解が深まる。
- ・SDGsを少しでも発信したいという青年会議所の意向からそれをテーマにしたが、討議会に参加していること自体がSDGsの推進につながっているのではないかと思っている。
- ・またコロナの感染症拡大が広がっている。討議会開催後にクラスターが発生しなくて安心した。
- ・今回は準備期間も短かったが、新規実行委員と、既存の実行委員との連携も取れているように見受けられた。非常にまとまっており、熱量を感じ、積極的に進めていただき非常に感謝している。
- ・次回10回目となる。個人的には今まで討議会に参加してもらった人がまちづくりに参画しているか、何か確認できないかと思っている。まちづくりへの参画へのきっかけとして行っている事業であるので、実行委員、ファシリテーターの会以外の方がどのようにまちづくりに関わっているのか確認したい。

◎改善点

- ・午前中だけの討議は慌ただしかった。
- ・余った時間で、参加者の方々に感想を話していただけたら良かったと思います。
- ・自己紹介用紙の〇〇は、アンダーラインが良かったと思います。
- ・何回開催しているかパッと見てわからなかった(ステージ上の横断幕に第9回と表示した方が良かった)
- ・フェイスシールドを持ち帰るのか、置いて帰っていいのか連絡ができていなかった。
- ・ニックネームを書くシール用紙の離型紙が剥がしにくかった。
- ・私のグループは4名参加され、2名が2回目だった。無作為抽出でも最終的には初参加を優先するなど考慮しても良いと思った。
- ・青年会議所の方と市関係者の方とが見分けられたら良いと思った。(青年会議所のシャツを着ている方もいたが)
- ・まとめ作業では、ホワイトボードの模造紙が遠く、意見の集約に模造紙に振り分けられた内容があまり参考にならなかった。まとめ作業時にテーブルに広げることができたら良かったかな。

- ・毎年一般市民の方で欠席者が出るのは残念です。参加者を定員プラス3から5名しておいてはどうか。もし欠席者がいない場合はテーブルを増やすとかして、一般参加者が一人でも多く参加してもらいたい。
- ・欠席があったとき、各テーブルの人員配置をすぐ変更する。
- ・終了後、フェイスシールドはどうすれば良いのか(回収か持ち帰り)案内があればよかった。
- ・ペットボトルのお茶を1度席に座ってからもう一度受付へ取りに行く人もいたので受付で一言声をかけてもらえたら良かった。
- ・場所にもよると思いますが、換気のため、ずっと扉が開いていて寒かったので扉を閉めている時間がほしかった。(ずっとではなく5分だけ閉めるなど)
- ・コロナ対策は万全すぎるほどだった。フェイスシールドまで必要だったのか？
- ・討議の際に、意見の方向性を確認するためにテーマをもっとわかりやすく出せると良かった。模造紙にも書いてあると良かった。
- ・コロナ対策ということもあるが、会場が静かでもっと活気があるとよかった。
- ・各テーブルに2名の青年会議所メンバーが配置されたが、1名のところは、振り分けが大変で追いつかない場合もあったため、ほかのメンバーにフォローに入ってもらった。
- ・ファシリテーターの会さんがこの討議会に参加している理由や想いなどが紹介できる時間があると良いと思った。もっと発信していけると良い。
- ・自分たちでできることなのに、企業にやってもらうことの意味がでて、自分たちができることに修正したかったが、青年会議所メンバーがその意見に賛同し、膨らませてしまったので、事前に青年会議所メンバーとの意向共有ができると良かった。
- ・参加者アンケートは楽しくなかったは0人だった。
- ・討議会は討議をしてなんぼ。模造紙を真ん中において討議をする楽しさを知っている人には物足りなかったかも。
- ・テーブルに男性1人であり、その人の意見を引き出しきれなかった。
- ・年齢層でテーブルメンバーを決定したので男女比を考慮できなかった。
- ・フェイスシールドまで装備をしたので、真ん中に模造紙を持ってきてふせんを貼れたのではないかな。
- ・参加者人数のバラつきを開始前に対応できるとよかった。
- ・青年会議所との細かい最終確認などもう少し詰めれたところがあったかもしれない。

参加者へのアンケート結果を中心に、今回の市民討議会の考察と、今後への課題をまとめました。
(アンケート結果の詳細については後述)

(1)無作為抽出による参加者募集について

市民討議会の参加者募集については、共催である小牧市の協力のもと、18歳以上の小牧市在住者1,500人(令和2年8月14日時点)を無作為抽出し、参加案内を発送しました。(※参加案内の発送に係る個人情報については市において適切に管理されています。)

募集の結果、約2.5%にあたる38人から参加承諾をいただきました。抽選で28人に参加者決定し、その後辞退者などもあり当日は22人の参加となりました。

無作為抽出という方法については、参加者の事後アンケートによると、参加者1名を除く21名の方が「無作為抽出の方法は良い」または「無作為抽出と公募の混合が良い」との回答をしており、今後も基本的には無作為抽出を継続していくことが望ましいと考えられます。

(2)「楽しい市民討議会」について

参加者の事後アンケートによると、参加に対する率直な感想について、「楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計で100%と参加者全員の方に楽しいと感じていただくことができました。

「今後も開催するべきだと思いますか」という質問について、「開催した方がよい」が100%と、この事業の有用性・将来性を参加者自身が感じていることが見受けられます。

(3)謝礼について

まちづくりへの参加機会の少ない層に訴求する重要な要素として、1人あたり1,500円の参加謝礼(クオカード)を一般社団法人小牧青年会議所からお支払いしました。

(※謝礼、お茶に、市の負担金は充当しておりません。)

謝礼について、参加者の事後アンケートでは76%の方がちょうど良い、無回答9%少ない5%必要ない5%と回答をされています。無関心層への訴求という意味で謝礼は重要な意味を持ちますので金額等については今後も慎重に検討していく必要があると思われます。

(4)運営体制について

本年度は実行委員会メンバーが中心となり組織した、ファシリテーターの会と新規実行委員の方に準備から当日の運営まで担っていただきました。

実行委員会の構成メンバーはファシリテーターの会から7名、新規実行委員の3名、合計10名での運営となりました。

新型コロナウイルスの影響が有り、当初のスケジュール通り行えず、第1回から第4回の実行委員会で全ての内容を決めなければならないタイトなスケジュールでしたが、市民討議会の趣旨、目的を共有し、大テーマの選定、アイスブレイクの方法など企画、当日のシナリオ、役割分担等を決め、ファシリテーターの会協田さんから新規実行委員に向けてファシリテーター講習会を実施していただき、新規実行委員の方たちがテーブルファシリテーターを行うにあたり必要な事を伝えていただきました。

司会者、メインファシリテーター、テーブルファシリテーターなど、当日の運営を実行委員の皆さんに行っていただき、青年会議所、支え合い協働推進課はバックアップに回ることで、市民によ

るまちづくりのイメージを今まで以上により強調し、市民が作り上げているという意識を醸成させることでまちづくりへの市民参画の意識をより高めることができたと感じています。参加者の事後アンケートでも「司会・メインファシリテーターの説明や進行は分かりやすかったですか」という質問に対しても、100%の方が分かりやすかったと回答いただき、回数を重ねてきたこれまでの経験によって、ファシリテーターの技量の向上が図られ、質の高い進行が行えたと感じています。

ファシリテーターの会や新規実行委員の皆さんには新型コロナウイルスの影響で時間の都合がとでも着けにくい状況下にも関わらず、4回に渡る実行委員会にご参加いただき内容を詰めていく事で市民討議会開催まで進める事が出来ました。実行委員の皆さんにはボランティアでやっていただいております。

(5) 今後の市民討議会のあり方について

公募ではなく市内全域から無作為抽出により参加者を募り、参加者の皆様に討議していただくということはすごく意義のある機会の提供であると感じており今後も継続して行うべき事業だと思えます。今回の討議会では持続可能な開発目標SDGを情報提供に折り混ぜて少しでも意識していただけるよう開催させていただきました。これから先17の目標を2030年までに達成するといった国連が掲げる目標がありますので、そこに市民一人ひとりが考え行動していく事が小牧市にとっても重要になってくると考えSDGsを前面に出し市民を巻き込んでいく事が必要だと考えます。

そして今年は今までにない新型コロナウイルスを考えた新しい生活スタイルを取り入れた設営をしなければいけない討議会となりました。しかし対策を打てば開催する事が出来ましたので、今後は企画段階から新型コロナウイルスの影響有りきで考えていく必要があるかと思えます。今まで行ってきた形とは違う討議会の開催の仕方（ウェブを使った討議会など）も同時に考え、当日会場に集まって行う討議会と平行してどちらに転んでも開催できる設えが求められるのではないのでしょうか。

8 こまき市民討議会を終えて

こまき市民討議会実行委員会 委員長 清水 香織

今年のコまき市民討議会はコロナ禍の中、開催するに際し、コロナ感染対策を考えながらの開催に小牧市役所支え合い協働推進課の方々はじめ小牧青年会議所の方々、実行委員会のメンバーともに短期間で戸惑いながらも今までとは違った討議会を作りあげることができたと思います。

また、マスクをしてフェイスシールドをつけ、声が聞きにくい中、実行委員のメンバーが参加者の方々とまどめてくれたおかげで話し合いもスムーズに進み、無事終えることができたと思います。

今回のテーマは、持続可能な開発目標 S D G s、「住み続けられる小牧を～私たちから変えられるまちづくり～」 「小牧の自慢って何だろう？」について小牧の自慢をもっと良くするために市民一人ひとりが自分たちの手で何ができるか？を参加者の方々と話し合いました。

今回、コロナ禍ということで、人数の制限、午前半日開催など色々制約がありグループ討議としては難しいこともあったと思います。また、小牧の自慢の幅が広すぎて、結論に結びつけるのに苦勞をされているグループも見えましたが、皆で真剣に考え、楽しく話し合いながら、最後には発表も良いものになっていました。

発表の際に各グループごとにまとめた模造紙を映し出し、皆に見えるようにしながら発表した事は、聞く側にもよくわかり新しい取り組みの一つとして今後の討議会にも活かせるように思います。

細かい反省点がありますが、参加者の方々から「楽しかった」「またこういう討議会に参加してみたい」などの感想があった話を聞くと、コロナ禍の中ではありましたが、開催してよかったとつくづく思いました。

これからも「楽しく、明るく、元気よく」をモットーに小牧市民とともに市民討議会を開催し続けて欲しいと思います。

最後に、委員長として至らないことも多々あったと思いますが、小牧市役所支え合い協働推進課の方々はじめ小牧青年会議所の方々には、打ち合わせや準備など大変お世話になりました。また、支えてくれた実行委員のメンバーに感謝したいです。

本当にありがとうございました。



▲実行委員長の清水さん

討議の様子



9 会場の様子

会場全体



一般社団法人小牧青年会議所

理事長 吉田 憲生よりあいさつ



皆様、改めましておはようございます。私は（一社）小牧青年会議所2020年度、理事長の職をお預かりしております吉田憲生と申します。本日1日どうぞよろしくお願い致します。本日は悪天候の中、こまき市民討議会まちづくりミーティング2020にご参加いただきまして誠にありがとうございます。山下市長も本会に駆けつけていただきましてありがとうございました。

そして、本日に至るまでに半年以上かけてご準備をしていただきました実行委員会の皆様、支え合い協働推進課の皆様、青年会議所実行委員の皆様には、改めてこの場を借りて感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。

台風が発生しておりまして、本日の開催がギリギリまでどうなるかなと思いましたが、幸運にも進路が反れて、無事開催出来たことを大変嬉しく思っております。

さて、この市民討議会は2012年から始まり、今年で9回目を迎えることとなります。毎年、テーマを設けまして、そのテーマについてグループで討議する形式になっております。例年であれば、午前の部、午後の部と約1日に渡って開催しておりますが、今年はコロナ禍ということもありまして、感染拡大の防止を徹底して、午前の部のみの開催と変更させていただきました。本日の内容で、SDGsについての説明がありますが、近年、小牧市でも取り組んでいる企業が増えてきております。是非とも、自分事と捉えていただいて、この会が終わった時には「自分たちのまち是自己たちでつくる」という意識を持っていただけたらと思っておりますので、積極的なご参加をよろしくお願い致します。

結びとなりますが、本日までご参加いただいております皆様1人1人の意見が、今後の小牧というまちを変えて行く一歩に繋がります。限られた時間ではございますが、積極的に意見を出していただ

きまして、そして、楽しく学んでいただけることをご祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

本日も1日どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

山下史守朗小牧市長よりあいさつ



本日は皆様に早朝よりお集まりいただき、こまき市民討議会まちづくりミーティング 2020を開催できること、うれしく思っております。本日参加の皆様におかれましては、日頃より市政にご理解ご協力いただいておりますことお礼申し上げます。また、開催にあたり企画から運営にいたるまでご協力をいただいている市民討議会実行委員会、ファシリテーターの会、そし

て一般社団法人小牧青年会議所の皆様にはお礼申し上げます。

あいにくの天気と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マスクにフェイスシールドと完全防備をしていただき、例年とは異なる開催風景となりますが、ご理解いただきたいと思います。

今回は「小牧の自慢ってなんだろう？」というテーマで話しをしていただき、SDGsに関連した内容になると伺っています。

SDGsについては、本市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」の中で、都市ビジョンや分野別計画編の基本施策が、SDGsの17のゴールのうち、どの分野に関連しているのかを示しています。人口減少が進む中で、住んで良かったと思っただき、誰一人取り残さないまちづくりを進めていくことが必要だと思っております。

市民の声を聴く事業については、市としてタウンミーティングや市民の声など様々ありますが、無作為抽出により各個人へ参加を促す通知を送るということは市民討議会だけで行っている特色があります。それによって、今までは市政やまちづくりに関心が無かった方も、自分宛に通知が来たなら、試しに出てみようと思っただき、この討議会をきっかけにまちづくりや市政へ参画していただける、これが討議会の最大の特徴だと感じています。

まちづくりは市民の皆さんと一緒に作っていくことが重要であり、行政だけではできないものだと思っております。

皆様におかれましても、お忙しい中せっかく参加いただきましたので、本日参加いただいたことが実り多いものとなることを心から祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。



参加者の皆様ありがとうございました！